

第六次中期経営計画

(2019年～2021年)

2019年2月12日

大倉工業株式会社

第六次中期経営計画の概要について

前期で終了した第五次中期経営計画では、「国内市場は量」、「海外市場は質」を基本的な事業戦略とし、得意分野を伸ばす一方で、成長分野に対して高度な加工技術と機能材料によるソリューションを提供できる技術優位な企業集団を目指してまいりました。

財務目標においては、中計一年目、二年目と売上・利益を伸ばし 2017 年は過去最高の経常利益を計上できましたが、2018 年は合成樹脂原材料価格の高騰とスマートフォンの販売不振という環境変化に遭遇し、前年からは大幅な減収減益となりました。一方、財務体質の健全化は進み自己資本比率は 51.8%となりました。

第六次中期経営計画では、次の 10 年に向けた経営ビジョン (Next 10) 「要素技術を通じて新たな価値を創造し、お客様から選ばれるソリューションパートナー」を設定し、「お客様の価値向上と社会課題の解決に貢献し、事業を通じて社会・環境価値を創出する」ことでグループの持続的成長を目指します。人々の安心で快適な生活を支える事業、環境・エネルギー負荷を軽減する事業、情報通信に関する事業に注力し、事業領域の拡大と収益力の強化を実現します。

第六次中期経営計画の基本方針

第六次中期経営計画は、経営ビジョン Next10 の実現に向けた第一ステップとして「新たな成長トレンドへの転換」と位置付けます。第五次中期経営計画で着手した既存事業の構造改革を完遂し、収益基盤を確固たるものとしながら、成長市場・分野への投資を集中することで、グループの新たな成長エンジンの創出を目指します。

また、「人ひとりを大切に」「地域社会への貢献」「お客様を第一に」という当社グループの経営理念の下、「社会から信頼される企業グループであり続ける」を CSR 基本方針として、環境・社会・ガバナンスを重視した ESG 経営に取り組むことで持続的な成長と企業価値の向上を実現します。

事業別セグメント別基本方針

合成樹脂事業では、ラミネート事業の再構築を行うとともに、既存成長事業への投資を行い、成長性の高い分野、用途において、当社の強みを活かした機能性フィルムの拡販を図っていきます。また、環境問題に対応した製品の開発にも注力していきます。

新規材料事業では、テレビ・スマートフォンなどの表示体市場において、今後大画面化、高輝度化とともに屋外用途の増大が想定されることから、それらに使用されるフィルムの素材安定化、高耐久化の探求と薄膜化技術(コーティング技術含む)を確立することで事業拡大を図っていきます。

建材事業では、パーティクルボード部門において、予防保全と設備更新により安定生産・生産性向上を図るとともに、構造用ボードの本格展開に注力します。また、建装材部門では、カタログ製品の販売を終了し、直需型の営業に特化する等の構造改革を実施します。

その他事業では、引き続き各事業子会社が地域に密着したそれぞれの戦略により拡販を図るとともに、利益体質を強化させていきます。

設備投資に係る基本方針

設備投資(工事ベース)は、3 年間で 145 億円の投資を実施します。主な投資としては、合成樹脂事業での多層インフレーションライン(3 億円)、新規材料事業での光学フィルム延伸設備更新(5 億円)、その他事業でのプレカットライン更新(5 億円)を行います。

中期経営計画における数値目標（連結）

(1) セグメント別売上高計画

（百万円）

	2017年実績	2018年実績	2019年計画	2020年計画	2021年計画
合成樹脂事業	49,341	49,654	52,000	53,500	55,000
新規材料事業	27,010	22,220	22,500	24,000	25,000
建材事業	8,188	8,068	7,000	7,000	7,500
その他	6,272	6,316	5,500	5,500	5,500
連結合計	90,812	86,260	87,000	90,000	93,000

(2) セグメント別営業利益計画

（百万円）

	2017年実績	2018年実績	2019年計画	2020年計画	2021年計画
合成樹脂事業	4,029	3,219	3,000	3,300	3,850
新規材料事業	2,720	1,822	1,600	1,750	1,900
建材事業	123	382	350	400	500
その他	715	810	550	550	550
全社	-1,799	-1,980	-2,000	-2,000	-2,000
連結合計	5,789	4,254	3,500	4,000	4,800

(3) セグメント別設備投資額（工事ベース）及び減価償却費

（百万円）

	2017年実績	2018年実績	2019年計画	2020年計画	2021年計画	3カ年計
合成樹脂事業	3,761	3,409	2,750	2,400	2,350	7,500
新規材料事業	1,021	1,577	1,450	1,050	1,200	3,700
建材事業	166	350	400	300	300	1,000
その他	415	250	400	750	500	1,650
全社	179	244	200	300	150	650
連結合計	5,543	5,831	5,200	4,800	4,500	14,500
減価償却費	3,926	3,902	5,000	5,300	5,100	15,400